五城目町広報

発行及び編集人
秋田県五城目町役場
総務課
電話（五）501～5
印刷所　湖東印刷

34年度決算など提出

定例議会十二月五日に開く

十一月定例議会は、準備などの都合で十二月五日に招集されることとなつた。

今議会は昭和三十四年度町一般会計決算の認定など十五案件の提出が予定されており、会期等については開会前の運営委員会で決定する。

提出される議案の主なものは次のとおり。

一、昭和三十四年度五城目町一般会計才入才出決算認定について
二、同第一中学校特別会計決算
三、同五城目町有林野特別会計決算
四、同五城目町上水道簡易水道事業特別会計決算
五、同五城目町国民健康保険特別会計決算
六、財政再建計画の変更について（役場、学校用薪炭材を五城目営林署長へ払下げ申請する）
七、国有林野貸受地立木伐採承認申請について（馬場目関ヶ沢五六へクタールの立木伐採を県知事、営林局長に承認申請する）
八、道路用地の取得について（上水道配水池道路の用地）
九、薪炭材の払下申請について（役場、学校用薪炭材を五城目営林署長へ払下げ申請する）
十、建物の買受申請について（国五城目営林署庁舎の払下げ申請）
以下略

11月臨時町議会終る

五小の貯水槽併用プール新設工事指名の同意など

十一月臨時町議会は去る十一月十一日午前十時五城目町役場第一会議室に招集され、会期を一日として次の議案が上提されそれぞれ議決になつたことの同意を求めることとについて（五城目小学校貯水槽併用プール新設　巾十米　長さ二十米　深さ一、二米　工事予算額八十万円）

二、昭和三十五年度五城目上水道事業特別会計才入才出追加更正予算（工事請負費七十万減額　施設費　備品費七十万円追加

三、随意契約によることの同意を求めることについて（工事ポンプ室　受配電盤設備工事　配水支管布設工事　路面復旧工事　予算額二百八十六万五千円）

四、寄附採納について（消防ポンプ置場一棟を大川地区隊第二分団谷地中班消防ポンプ置場用として　寄附者　谷地中住民総代鷲谷源之助）

ほかに継続審議中の請願一件及び陳情一件は更に継続審議とする。

秋田国体は来年十月に開かれます

国体は、県民の意気を高める最大の行事です。昭和三十六年十月八日から十二日までに予定された第十六回国民体育大会を迎える私たちは、健康なからだをつくり明朗な生活を築き、人には親切をつくす県民運動をもりあげて家庭に、職場に、学校に、町むらに新しい生活のいぶきを吹きこんでいこうではありませんか。

記念として、永遠にわが郷土にきざみこまれることでしょう。

さあ、県民総参加で秋田国体を迎えましょう国体を、私たちの生活の上に活かす県民運動をすすめましょう。

◇健康運動
①姿勢を正しくしましょう。
②仕事の合間に体操しましょう。
③生活にスポーツを取り入れましょう。
④環境衛生の向上に効めましょう。
⑤食生活を合理化しましょう。
⑥がんばる力を養いましょう。

◇明朗運動
①正しいよい言葉を使いましょう。
②時間を守りましょう。
③みんなでレクリエーションを楽しみましょう
④交通道徳を守りましょう
⑤町や村をきれいにしましょう。

◇親切運動
①いつも、にこにこ歓待しましょう。
②お客さまには、はきはきし、丁寧にしましょう
③郷土をじょうずに紹介しましょう。
④老人や子供をいたわりましょう。

【写真】　熱心に見学するこどもたち

濁流と斗う消防団

有事に備え水防訓練

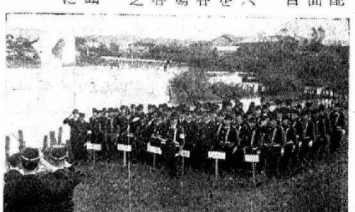
毎年の水害ゑ来年度の全県水防競技会に備えて本町では消防本部、消防署、消防団の三者共同で水防講習会と水防工法競技会を十一月十四日午前八時半より本町役場下流の堤防に於いて実施した

水防講習には競技会出場の選手（各地区隊より十一名宛）と班長以上の幹部の消防団員が出場し、約三時間にわたり県消防課講師の熱心な講義を受けた。終つて十一時半より豪雨により馬場目川氾濫増水し、三米（昭和三十年水害当時の出水水位）の濁流逆巻く大洪水の想定の下に、水流緩和の木流し工法、堤防の欠壊防止や橋梁の流失防止の積俵土法等短時間の間に金工法が終了された。

足下に迫る濁流、雨具に身体の自由もきかぬそして深夜の作業で隊員は殆んと無言の間に、次々とチームワークの良い作業が続けられた。

聞えるのは力強い渡辺水防団長（消防団長）の臨機應変の命令とこれに應ずる作業隊長の暗をつんざく作業命令のみで競技会は整然と進行された

終つて講師の講評では始めての然も短時間の講習で、よく充分会得され今後有事の際に活用出来ると賞讃され、来年度全県の大会に是非優勝されるよう期特すると講評を受け、荒川文教社会委員長の万才三唱を最後に意義深い一日は終了した。



【写真】　上＝作業隊の整列　下＝真剣な訓練

実現なる!!

大川地区の国道舗装

待望の大川地区の国道舗装事業が明三十六年度中に実施される見通しがつきました。

これは特別の事情がない限り変更されることなく実施されるものであります。

工事は大体延長が五〇〇メートル程度が予定されており、工事に着手さ

これまで舗装事業については地元の大川部落と当局が一致して関係方面に陳情運動等を行つた結果、実現したものであります。

これは特別の事情がない限り変更されることなく実施されるものであり近々中に測量が開始される予定です。

よい子たちの議会見学

五小の社会科クラブで

小学校の子どもたちが町の政治はどのようなものかを勉強するため、十月十九日開会中の臨時町議会を見学した。

これは小学校六年生でつくつている社会科クラブの子供達で、担任の石井英一先生につれられてまづ町長室に入り、加賀谷町長を囲んで、活発に話し合い、ついで議会の傍聴席に入つて、約三十分ほど熱心な態度で見学した。

このかわいい傍聴者にはさすがの論客たちも、ちよつとまごついたかたち。

見学の感想は、

①世の中は自分ハ思うとおりにはゆかない。

②町の政治をみんなの話し合いできめることはよいと思つた。自分達が児童会をやるときの参考になつた。

③町長さんを囲んで話し合つて町づくりというものを知つた。

などなかなかよく観察していた。

おしらせ板

住民課へおたずね下さい

中学校卒業者へ就職紹介が始まります

来年の三月、中学校を卒業する就職希望者に、十二月一日から〝働きやすい職場を与えよう〟と県で就職あつせんの業務をはじめることになりました。

中学校卒業者の就職は毎年好調で、昨年は二倍を上廻りました。

ことしも十月末現在で県の職業安定所に申込まれたものだけで、一万二千人にものぼつています

これは今年の就職希望者の二倍に当るものです。

求人申込みは

調整のうえ紹介されます

こうした出足のよい求人申込みは、会社、工場など商業所の人手不足をあらわしているもので、

無用な競争などをさけるため、労働省や各都道府県が連絡をとりあつて、求人側と話し合うことになりました。

早く職業を選びましょう

職業紹介所では一時に多くの人を取扱うため混乱を生ずるので、県では計画的な紹介業務を進め混乱をなくそうとしています。

けれども、この計画は就職希望者の〝早い職業の選擇〟があつてはじめて進めることができるので就職希望者はできるだけ早く進路をきめる様望んでいます

百日咳、ヂフテリヤ、種痘の予防接種が行なわれています

予防接種は必ず受けなければなりません。

ことしも地区ごとに実施してきましたが、まだ終っていない地区も一月十日までに全部終ることになつておりますから、通知を受けた方は必ず受けて下さい。

町の十大ニュースを募集します

ことし一年中のできごとの中から、町の十大ニュースを一般應募で決めますから、ふるつて應募して下さい。

◆應募規定

❶ニュースの選び方
昭和三十五年中の五城目町のできごと、又は町に関連のあるできごとに限る。

❷應募できる人
五城目町民（ただし共同應募は認めない）

❸しめきり
十二月十九日までに役場へつくこと。

❹送り先
五城目町役場内　十大ニュース係

❺発表
五城目町広報新年号に発表します。

❻褒賞
採用となつたもの、又はこれに準ずるものには賞金を差上げます。

（注）＝ニュースは昭和三十五年一月一日から十二月十日までのものから選び、一から十まで順位をつけて書いて下さい。用紙は随意とします。

前回の選挙をやゝ下回る

衆院選挙 開票は順調に終る

76.73%

衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の投票が十一月二十日午前七時から町内十九ヶ所の投票所で一斉に行われた。

前夜来の雨も晴れ上り風ごろからは日もさしはじめ、まずは上々の〃投票日和〃この日町では消防車や有線放送で棄権防止を呼びかけるなど、投票率の向上につとめたが前回三十三年の総選挙を三、三一%下廻る七六、七三%にとどまった。

（全県平均七六、三五%）開票は同日午後七時三十分から役場第一会議室で行われたが、あらかじめ県選管から示された終了予定時間は総選挙が午後九時五十分、国民審査が午後十一時三十分に対し、総選挙八時四十五分と国民審査十一時十分にそれぞれ終了し、全国における前回（衆院地方区）の下位から一躍上位に進出する好調ぶりを示した。

地区別投票率と開票結果はつぎのとおり。

地区名	投票率	前回(33年)投票率
五城目	79,50	81,23
馬場目	73,27	77,38
富津内	74,59	84,24
内川	76,80	81,38
大川	79,72	83,63
面潟	64,89	75,79
合計	76,73	80,04

投票総数9,000	無効163
候補者氏名	得票数
鈴木一	1,494
佐々木義武	1,663
柳谷清三郎	1,728
石田博英	1,721
石山権作	2,036
三浦雷太郎	195

立会演説会は大盛況

聴衆の中に夫婦連も

また衆議員立候補者の立会演説会は八日と十四日の両日五城目小学校で開催されたが、各候補者の政見をよく聞いてから投票しようとする選挙人が多く毎回五〇〇名を越す盛況さであった。

この中には夫婦そろって来たのが数組みられ、今までにない新しさを感じさせた。

文書の左横書きを実施

町へ提出する文書も（1月1日から）

公用文の左横書きについては、昭和二十三年に政府から通達が出されて以来、国の機関をはじめ県や市町村でも順次に実施されてきましたが、町村合併以来市町村の規模の適正化、合理化の進むに伴い近代化をはかるため最近にいたって実施の気運が急激に盛上りつゝあります。これは時代の要請であるとともに従来の縦書きよりいろいろの点で左横書きの方が優っているからで、秋田県でも昭和36年1月1日からこれを実施することになりました。

本町もこれは前々からの懸案であったので、県より実施することになった機会にこれと歩調を合せやはり昭和36年1月1日から実施することに決定しました。

従来の縦書きから左横書きになることは町民各位には読みにくかったり、書きにくかったりして一時的には不自由を感じることと存じますが、これは習慣からきているものであることは、現に実施している市町村で立証済みで、かえって能率があがるというのが常識になっています。

ついては町民各位から町へ提出される文書（請願、陳情、申請、請願届、案内状、往復文書等）は左横書きになりますから昭和36年1月1日からは、次の用紙にならい、提出されますようお願いいたします。

申請、往復文書文

何々第　号

昭和　年　月　日

五城目町長○○○殿

住所
氏名　㊞

○○について（申請）

○○○……

○○……。

記

何々

請願（陳情）文

（裏紙）

請願（陳情）書

紹介議員○○○㊞

（内容）

1 件名……
要旨

何々

理由

何々

地方自治法第124条の規定により（上記のとおり）請願（陳情）いたします。

昭和　年　月　日

住所
氏名

五城目町議会議（町）長○○殿

※陳情のときは紹介議員は要しません。

税金その他の納入金は町金庫（秋田銀行）で取扱っています

☆たのしみあい運動　一品もちより……　（1日～31日）

「せんたくしていただいたら
一枚といわず半分さしあげます」

空からのネズミ退治

富津内、内川の山林へ

昨年の晩秋からことしの春先にかけて、内川湯ノ又と富津内中津又地内の山林に野ネズミが大発生し、造林地に大きな被害をあたえ、その面積が六〇〇ヘクタールに及んでいるので、町では県及び森林組合などの協力を得て防除に努めていたが効果があがらずにいたところ、このほど県費の補助を得て〈ヘリコプター〉で空から薬剤を撒布して被害防除を試みた。

今回はまず被害のもっともひどい二五〇ヘクタールに実施することになり、晴天に恵まれた十一月三十日、役場うしろの田圃を基地にして二〇〇キロの薬剤を三回にわけて被害地へ進び空中撒布をした。

この薬剤は小さな固形物で非常な効力があり、町をはじめ森林組合、造林者はその成果に大きな期待をよせている。

実施した区域は内川湯ノ又字大畑、小川口、大四郎沢と富津内中津又字高野、下北口、上北口地内の山林で、面積は町有林六三ヘクタール、県行造林三ヘクタール、私有林一八四ヘクタールで計二五〇ヘクタールとなっている。

〈ヘリコプター〉は時速六〇キロ、高度三〇米から五〇米で三〇米市に薬剤を空中撒布し、一ヘクタールへ撒布するのにわずか二〇秒であった。

また経費は飛行料金十万六千円、薬剤費に八万八千円を要した。

なお町では病害虫の防除対策については、常に造林地を巡視して被害を早期に発見し、その対策を経済誤又は森林組合に提議してもらうよう望んでいる。

ヘリコプター塔乗記

野ねずみ征伐のため二五〇ヘクタールへ薬剤の空中撒布を終ったヘリコプターに遊覧塔乗を許され、フワッと離陸して五城目町の上空を飛んでみた。

眼下にひらけたハコ庭のような地上の絵〃を追って機首は四方をがきながら秋晴れの空をかけめぐる。

北東にのびる山岳地帯南西にひろがる田園地帯の美しい調和がわが町のたたずまいだ。

それは力強い伸びゆく姿でもある。（三浦）

各中学校に教材電話

土崎電話局から贈られる

こどもたちに電話の知識をもたせ、また上手に電話をかけることができるようにと、秋田電気通信部では管内各学校に教材用電話を贈っているが、ことしは当町では馬場目中、杉沢中、富津内中、大川中の四校へそれぞれ贈られた。

これで昨年の五一中、内川中を含めて全部の中学校に贈られた。この電話は学校内に二個取りつけていつでも子供達が掛け合って練習することができるので電話をおぼえる一方理科、社会などの勉強にもなり生徒たちに喜ばれている

〔写真　土崎電話局長から生徒への贈呈〕

人権週間

12月4日―10日

われわれ国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚をはかるため、全国に人権擁護委員がおかれています。

そしてこの委員は、国民の基本的人権が侵されないようにつとめ、若しも侵されたときはそれを救済する役目をもっています。

五城目町には次の五人が委員に任命されています。

佐藤勝太郎（五城目）
斉藤馬治（馬場目）
阿部友次郎（富津内）
小野仁三郎（大川）
鈴木猪作（野田）

皆様待望の上水道は

12月末に通水されます

上水道の配管工事は、一部夜間作業となる個処を除いて殆んど完了し、年内給水を目ざして最後の仕上げを急いでいます。

ポンプ場は、ポンプ受配電盤、滅菌機等の据付けを終り、造林地を巡視して被害を早期に発見し、その対策を経済誤又は森林組合に提議してもらうよう望んでいる。

ヘリコプター塔乗記

野ねずみ征伐のため二五〇ヘクタールへ薬剤の空中撒布を終ったヘリコプターに遊覧塔乗を許され、フワッと離陸して五城目町の上空を飛んでみた。

眼下にひらけたハコ庭のような地上の絵〃を追って機首は四方をがきながら秋晴れの空をかけめぐる。

北東にのびる山岳地帯南西にひろがる田園地帯の美しい調和がわが町のたたずまいだ。

それは力強い伸びゆく姿でもある。（三浦）

婦人の縣外研修に参加して

大川　北島実子

去る十月二十五日から十一月一日までの間、県主催の婦人の県外研修に参加させていただき、富山県、長野県を視察しました。

秋田を夜行で出発して翌二十六日富山につきました。まず製薬工場の広大さに驚かされました。

このように盛ったお弁当と共に、ナイロン工場などを見学し、午後から富山県の婦人会館で婦人会の方と話しあいました。

この婦人会館は二千三百万円の工費で昭和三十一年に竣工したもので、手ぎまになったため今年更に八百万円で増築していました。

この費用は三百万円を県が出し五百万円は県内十七万人の婦人の拠出で補つたそうです。

婦人会館の事業はまず結婚の簡素化を目的とする結婚式で、婦人会が司会してすべてを会館でやっており、多いときは一日五、六組もあるとのことです。そしてこの収入が会館の大きな財源となっていました。

このほか食生活の改善を目的とする料理教室、婦人の技術習得のための教室などあり、また中央学級や各種の会合で殆んど毎日利用されている状態です。

また会館には婦人会館に親切運動、つぎに明朗運動、それから花いっぱい運動、冒頭の講習、町内に力を入れ真剣に取り組んだとのことで、いまでもその影響が残されている感じでした。

先に見学した製薬工場やナイロン工場の人たちにしても、話し合った婦人会の方たちにしても、みんな親切で明るい感じを受けました。これはやはり国体という大行事を終えた富山県のかたたちの努力された気持が、そのまま習慣的になって表われていると思いました。

エラーの〈ラジオ〉財団から、わが秋田県も富山県に比べまして、工場の面でも森林資源、鉱産資源の豊富なことでも、また文化の面でも劣るところはなく、来年の国体に備えて現在新築中の秋田民衆駅も立派なものができると思います。

私たちが富山へ着いてまづ先に見た富山の民衆駅、駅前広場それから区画された街の風景は、いずれも〃きれいだなあ〃と感じたように、秋田も外来者たちによい印象を与えることのできるようにしたいものです。

富山の国体にしましてもまた今年の熊本の国体にしましても評判がよかったのですけれど、来年の秋田の国体は秋田なりの良い面を活かして、全国から集まる一万数千人の選手や代表者の人たちを温かい、そして親切な気持で迎えて「本当に秋田の国体は立派であった」といわれるように、また後日の思い出話にもよい印象が残るように、私たち県民は一体となってがんばりたいと思います。

（紙面の都合で今回は富山市の項だけにします）

☆　☆　☆

上水道の配管工事は、一部夜間作業となる個処を除いて殆んど完了し、年内給水を目ざして最後の仕上げを急いでいます。

ポンプ場は、ポンプ受配電盤、滅菌機等の据付けを終り、造林地を巡視して被害を早期に発見し、その対策を経済誤又は森林組合に提議してもらうよう望んでいる。

ヘリコプター塔乗記

野ねずみ征伐のため二五〇ヘクタールへ薬剤の空中撒布を終ったヘリコプターに遊覧塔乗を許され、フワッと離陸して五城目町の上空を飛んでみた。

眼下にひらけたハコ庭のような地上の絵〃を追って機首は四方をがきながら秋晴れの空をかけめぐる。

北東にのびる山岳地帯南西にひろがる田園地帯の美しい調和がわが町のたたずまいだ。

それは力強い伸びゆく姿でもある。（三浦）

加入申込者は十二月一日現在六七〇戸で西野、谷地中、雀舘等未だとりまとめが完了していない地区もあるので最終数字は官公署、学校等を除いて七五〇戸をこえるものと予想されています。このように加入率の高いのは町民各位の理解と協力によるものと感謝しています。また予算給水工事も十二月いっぱいで完成し、一せい通水するよう努力しています。（水道係）

努力の結晶1,126点

産業祭盛況裡に終了

人出一万人を超え
多彩な産業まつり

ことしの産業まつりは十一月二日から五日までの四日間、五城目小学校を会場とし町のあらゆる産業を総動員して、はなばなしく催された。

審査の対象となつた出品物は、農産七二四点、林産八三点、物産三〇七点、料理一二点で総計一、一二六点をかぞえ、このほか町政展をはじめ各種展示で会場を満たし、参観者をよろこばせた。

期間中は天候には恵まれなかつたが延一万人以上の参観者で賑い、とくに三日の文化の日は六千人を超える人出で、会場は人の波であつた。

この日は農事体験発表と座談会が催され、本町未曾有の反収六石突破の米多収穫成績の発表には満場の拍手を浴びた。また新しい試みとして北秋上小阿仁村の主腦部や業界、消費者代表など三十名を招いて、五城目物産の招介と今後の阿仁部との取引について懇談会をひらき、大いに販路拡幅につとめた。

一方来年度の国体をひかえ、郷土のみやげ品の陳列や、体操場で行なわれた俵編競技会名人鳥井森鈴一行の余興など町民の慰安も織りまぜて産業祭気分を盛り上げた。

最終日は知事代理の秋田林業事務所岡本所長はか来賓多数臨席して、褒賞授与式を行い舘岡重利さん毎二三〇名が褒賞されて四日間の産業まつりを盛況裡に終了した。

米多収穫

6石2升9合を記録す

高崎 舘岡良三氏

本年度の米多収穫は、地域差が平均されたので審査区域を平担部と山間部の二ブロックに分けて審査を行い、そのブロック毎で優劣を決めた。個人出品品単位とし、総出出品157点のなかから54点を3坪刈調査を行つた結果、上位の成績は次のとおりである。

平担部		
①	舘岡 良三	6石029
②	内藤 時治	5，629
③	石井 勝雄	5，549
④	三浦 俊蔵	5，007
⑤	猿田日出男	4，981
⑥	大石 巽	4，793
⑦	猿田 俊雄	4，777
⑧	石井 政吉	4，634
⑨	田原 直治	4，608
⑩	田仲喜美治	4，584
⑪	原田源太郎	4，578
⑫	石井 次郎	4，572
⑬	斉藤金一郎	4，503
⑭	草皆民治郎	4，428
⑮	伊藤 義雄	4，425
山間部		
①	佐々木鉄美	4，331
②	伊藤源五郎	4，231
③	石川延太郎	4，114
④	猿田 和夫	3，988
⑤	渡辺 雄一	3，875

今後の農業経営のあり方！
農業体験発表と座談会

産業祭の中心行事の農業体験発表会は、三日午後一時から会場内音楽室で開かれ青壮年層六十名が参加して盛況であつた。発表に先立ち町長は、私が就任したとき、稲単作地帯の根かんをなす米多収穫の答申を農業委員会から求め、これを基礎として施策を行つた結果、当初の平均反収二石六斗台が本年度で三石台を突破した。今年を一転期として、次の重点施策のヒントを得たいためこの座談会を大いに期待したいなお識者の間で以前から農業人口を漸減して、他産業に吸収し所得の増加をはかることは一つの問題となつているが、東北の小さな本町であつてもやはりこうした観点から大きな基本的な目標を定めて進むべきでないかと思う。

新しい若い世代の諸君が此の問題を真剣に研究討議の場とせられたいことを強調した。

又特に会員のなかからは、立派なデーターを示し、町の農業行政のあり方をするどく批判するなど、今後の施策に大きな示唆ともなつた。

省力栽培は
除草剤使用で可能

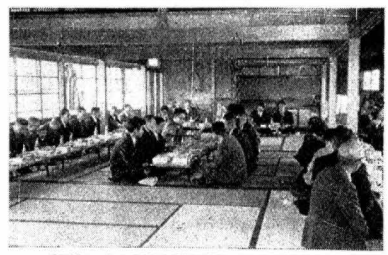
高崎 舘岡良三

いま各方面に、曲り角に立つ農業とかいわれているが、米ばかりつくることは現代の農業でない少ない労力で、如何に収量をあげるか……又その余剰労力を如何なる方面に利用するかが問題であると考えた。その結果私は、本田に於ける除草剤PCP使用により、草を生かさない省力栽培の効果を体験した。

省力栽培のスタートはまづ健苗であると考え、加燐三早栽培を過去三カ年間実行し、低温低抗性の健苗を仕立てた。除草剤PCPは田植後の割合ヒマなとき使用し、今年は手取除草を一回もやらず中耕除草機と水中MCPを、出穂四十日前（六月二十五日）にMCP四十グラムを砂一斗と塩化カリ一匁に混ぜてまいた労力は手取除草のときより反当り五人軽減出来一町歩で五十人の労力節約が出来た。これが省力栽培の効果である。

この除草時期が野菜畑の除草時期でもあるのでこの余剰労力を畑の草取りに使えば畑作物の増収が期待出来、そして経営全体にプラスとなつて農家所得の向上となつた。

【写真…農産物の審査状況】


【写真…上小阿仁村首脳部との取引懇談会場】

農家経済の向上めざし
乳牛を導入

西野 金子登美治

私の経営は家族六人、農業従事者三人、耕作面積二町畑一反、乳牛一頭鶏二十羽、かつては稲作単一農家でその日の現金収入にも困つて、単作経営の辛さを痛切に感じたそのためまず五十羽養鶏を取り入れ、次に山羊と緬羊を導入し、衣食を計画のなかに取り入れ、家族の健康保持につとめた

次に経営の根かんをなすものは、土壌と考え裏作麦を作付して、最初鶏の飼料を考え寒取りを行つたが、稲の跡作に間隙があり、青刈を利用出来る酪農をとり入れた方がよいと考え、初めて乳牛を導入した。現在乳牛から一日平均八升、年間二十五石の乳を生産しており、年間収入十三万八千四百円、一日飼料代一三一円年間四万四千円そのほか一万八千二百円、経費合計六万二千二百円、差引七万六千円の所得があることになり、米作収入の外にこれだけ現金収入が加わり農家経済の向上となつた。

上小仁阿との座談会
道路整備が急務

商工座談会は農業座談会とともに産業祭の主要行事であるが、今年は上小阿仁村との交歓座談会を四日に開催し大きい成果をおさめた。

本町はむかしから阿仁とのつながりが深く県道の開通によつて物質の交流は勿論交通上の利便も両町村とも非常に大きいので、産業祭の期間中に村当局者及び議会関係、業界並びに消費者代表三十七名を招待して本町の業界を招介し併せて今後の交流を誓い合つたが、要は南秋側の県道路盤的改良工事を早めることによつてバス、トラックなどの運行が両町村を結ぶ唯一つのカギとなるので県に対しては両町村とも強力に呼びかけることに意見の一致をみた。

日ごろの腕をふるい
手に汗握る俵編競技

供出米用俵は、年々豊作にめぐまれ、数量も増えておるので、これが品質改善の目的で、管内単協より推せんの選手により、日頃の腕によりをかけ十一月四日会場内に於いて、俵編競技会を行い参加者の熱援あり、新らしい試みとして好評を得ました。

なお成績は次のとおりであつた。

一等 大川 佐藤
昭三郎 同 佐藤久雄 三等
馬場目 田仲喜美治

【写真…俵編み競争風景】

舘岡重利さんら五名に
かがやく知事賞

第五回五城目町産業祭出品物審査の結果は、三日発表されたが、それによると出品総数一一二六点であり、このなかから知事賞六点、県農協中央会長賞六点、県森連会長賞三点県緑化推進賞二点、一等賞二〇点、二等賞五六点、三等賞一〇四点、優秀賞一六点、優良賞十一点このほかとくに本年度は、五城目町長から過去三ヵ年間連続米多収穫に於いて五石以上位の成績を得た舘岡良三氏などに贈られた。

畠山審査長は「本年春先は気温が低く苗不足を心配され、かつ本田移植後病害虫の発生に加え、ダブロー児玉 金蔵の異状発生もしたが、卓越せる稲作管理によつて、本年続きの豊作を克つ得たことは、何よりもよろこばしく、収量に対する地域差もなくなり、農家のこれまでの努力に対し一点このほかとくに本年深謝の敬意を表する」旨語つた。

なお晴の入賞者は次のとおりである。

▼知事賞

水稲 十和田 舘岡重利
白菜チーフ 舘岡良三

造林第一部 小林泰雄
造林第二部 工藤 肇
吊洋服ダンス 高桑ダンス店
後病害虫の発生に加え、ダブロー児玉 金蔵
異状発生もしたが、卓越せる稲作管理によつて、本年続きの豊作を克つ得たことは、何よりもよろこばしく、収量に対する地域差もなくなり、農家のこれまでの努力に対し深謝の敬意を表する」旨語つた。

▼県農協中央会長賞

水稲 舘越 本間金之助
大根 町村 斉藤 貞治
甘藍 谷地中 佐藤 福治
玉葱 高崎 武田
午蒡 下樋口渡辺 敬助
玄米 西野 小玉 義治

▼県森連会長賞

造林第一部 小
造林第二部 高
造林第三部 小
造林第四部 小
造林第五部 小
造林第六部 小
造林第七部 小
造林第八部 小
造林第九部 小
造林第十部 小
造林第十一部 小
造林第十二部 小
造林第十三部 小
造林第十四部 小
造林第十五部 小
造林第十六部 小
造林第十七部 小
造林第十八部 小
造林第十九部 小
造林第二十部 小
造林第二十一部 小
造林第二十二部 小
造林第二十三部 小
造林第二十四部 小
造林第二十五部 小
造林第二十六部 小
造林第二十七部 小
造林第二十八部 小
造林第二十九部 小
造林第三十部 小
造林第三十一部 小
造林第三十二部 小
造林第三十三部 小
造林第三十四部 小
造林第三十五部 小
造林第三十六部 小
造林第三十七部 小
造林第三十八部 小
造林第三十九部 小
造林第四十部 小
造林第四十一部 小
造林第四十二部 小
造林第四十三部 小
造林第四十四部 小
造林第四十五部 小
造林第四十六部 小
造林第四十七部 小
造林第四十八部 小
造林第四十九部 小
造林第五十部 小
造林第五十一部 小
造林第五十二部 小
造林第五十三部 小
造林第五十四部 小
造林第五十五部 小
造林第五十六部 小
造林第五十七部 小
造林第五十八部 小
造林第五十九部 小
造林第六十部 小
造林第六十一部 小
造林第六十二部 小
造林第六十三部 小
造林第六十四部 小
造林第六十五部 小
造林第六十六部 小
造林第六十七部 小
造林第六十八部 小
造林第六十九部 小
造林第七十部 小
造林第七十一部 小
造林第七十二部 小
造林第七十三部 小
造林第七十四部 小
造林第七十五部 小
造林第七十六部 小
造林第七十七部 小
造林第七十八部 小
造林第七十九部 小
造林第八十部 小
造林第八十一部 小
造林第八十二部 小
造林第八十三部 小
造林第八十四部 小
造林第八十五部 小
造林第八十六部 小
造林第八十七部 小
造林第八十八部 小
造林第八十九部 小
造林第九十部 小
造林第九十一部 小
造林第九十二部 小
造林第九十三部 小
造林第九十四部 小
造林第九十五部 小
造林第九十六部 小
造林第九十七部 小
造林第九十八部 小
造林第九十九部 小
造林第百部 小
造林第百一部 小
造林第百二部 小
造林第百三部 小
造林第百四部 小
造林第百五部 小
造林第百六部 小
造林第百七部 小
造林第百八部 小
造林第百九部 小
造林第百十部 小
造林第百十一部 小
造林第百十二部 小
造林第百十三部 小
造林第百十四部 小
造林第百十五部 小
造林第百十六部 小
造林第百十七部 小
造林第百十八部 小
造林第百十九部 小
造林第百二十部 小
造林第百二十一部 小
造林第百二十二部 小
造林第百二十三部 小
造林第百二十四部 小
造林第百二十五部 小
造林第百二十六部 小
造林第百二十七部 小
造林第百二十八部 小
造林第百二十九部 小
造林第百三十部 小
造林第百三十一部 小
造林第百三十二部 小
造林第百三十三部 小
造林第百三十四部 小
造林第百三十五部 小
造林第百三十六部 小
造林第百三十七部 小
造林第百三十八部 小
造林第百三十九部 小
造林第百四十部 小
造林第百四十一部 小
造林第百四十二部 小
造林第百四十三部 小
造林第百四十四部 小
造林第百四十五部 小
造林第百四十六部 小
造林第百四十七部 小
造林第百四十八部 小
造林第百四十九部 小
造林第百五十部 小
造林第百五十一部 小
造林第百五十二部 小
造林第百五十三部 小
造林第百五十四部 小
造林第百五十五部 小
造林第百五十六部 小
造林第百五十七部 小
造林第百五十八部 小
造林第百五十九部 小
造林第百六十部 小
造林第百六十一部 小
造林第百六十二部 小
造林第百六十三部 小
造林第百六十四部 小
造林第百六十五部 小
造林第百六十六部 小
造林第百六十七部 小
造林第百六十八部 小
造林第百六十九部 小
造林第百七十部 小
造林第百七十一部 小
造林第百七十二部 小
造林第百七十三部 小
造林第百七十四部 小
造林第百七十五部 小
造林第百七十六部 小
造林第百七十七部 小
造林第百七十八部 小
造林第百七十九部 小
造林第百八十部 小
造林第百八十一部 小
造林第百八十二部 小
造林第百八十三部 小
造林第百八十四部 小
造林第百八十五部 小
造林第百八十六部 小
造林第百八十七部 小
造林第百八十八部 小
造林第百八十九部 小
造林第百九十部 小
造林第百九十一部 小
造林第百九十二部 小
造林第百九十三部 小
造林第百九十四部 小
造林第百九十五部 小
造林第百九十六部 小
造林第百九十七部 小
造林第百九十八部 小
造林第百九十九部 小
造林第二百部 小
造林第二百一部 小
造林第二百二部 小
造林第二百三部 小
造林第二百四部 小
造林第二百五部 小
造林第二百六部 小
造林第二百七部 小
造林第二百八部 小
造林第二百九部 小
造林第二百十部 小
造林第二百十一部 小
造林第二百十二部 小
造林第二百十三部 小
造林第二百十四部 小
造林第二百十五部 小
造林第二百十六部 小
造林第二百十七部 小
造林第二百十八部 小
造林第二百十九部 小
造林第二百二十部 小
造林第二百二十一部 小
造林第二百二十二部 小
造林第二百二十三部 小
造林第二百二十四部 小
造林第二百二十五部 小
造林第二百二十六部 小
造林第二百二十七部 小
造林第二百二十八部 小
造林第二百二十九部 小
造林第二百三十部 小
造林第二百三十一部 小
造林第二百三十二部 小
造林第二百三十三部 小
造林第二百三十四部 小
造林第二百三十五部 小
造林第二百三十六部 小
造林第二百三十七部 小
造林第二百三十八部 小
造林第二百三十九部 小
造林第二百四十部 小
造林第二百四十一部 小
造林第二百四十二部 小
造林第二百四十三部 小
造林第二百四十四部 小
造林第二百四十五部 小
造林第二百四十六部 小
造林第二百四十七部 小
造林第二百四十八部 小
造林第二百四十九部 小
造林第二百五十部 小
造林第二百五十一部 小
造林第二百五十二部 小
造林第二百五十三部 小
造林第二百五十四部 小
造林第二百五十五部 小
造林第二百五十六部 小
造林第二百五十七部 小
造林第二百五十八部 小
造林第二百五十九部 小
造林第二百六十部 小
造林第二百六十一部 小
造林第二百六十二部 小
造林第二百六十三部 小
造林第二百六十四部 小
造林第二百六十五部 小
造林第二百六十六部 小
造林第二百六十七部 小
造林第二百六十八部 小
造林第二百六十九部 小
造林第二百七十部 小
造林第二百七十一部 小
造林第二百七十二部 小
造林第二百七十三部 小
造林第二百七十四部 小
造林第二百七十五部 小
造林第二百七十六部 小
造林第二百七十七部 小
造林第二百七十八部 小
造林第二百七十九部 小
造林第二百八十部 小
造林第二百八十一部 小
造林第二百八十二部 小
造林第二百八十三部 小
造林第二百八十四部 小
造林第二百八十五部 小
造林第二百八十六部 小
造林第二百八十七部 小
造林第二百八十八部 小
造林第二百八十九部 小
造林第二百九十部 小
造林第二百九十一部 小
造林第二百九十二部 小
造林第二百九十三部 小
造林第二百九十四部 小
造林第二百九十五部 小
造林第二百九十六部 小
造林第二百九十七部 小
造林第二百九十八部 小
造林第二百九十九部 小
造林第三百部 小
造林第三百一部 小
造林第三百二部 小
造林第三百三部 小
造林第三百四部 小
造林第三百五部 小
造林第三百六部 小
造林第三百七部 小
造林第三百八部 小
造林第三百九部 小
造林第三百十部 小
造林第三百十一部 小
造林第三百十二部 小
造林第三百十三部 小
造林第三百十四部 小
造林第三百十五部 小
造林第三百十六部 小
造林第三百十七部 小
造林第三百十八部 小
造林第三百十九部 小
造林第三百二十部 小
造林第三百二十一部 小
造林第三百二十二部 小
造林第三百二十三部 小
造林第三百二十四部 小
造林第三百二十五部 小
造林第三百二十六部 小
造林第三百二十七部 小
造林第三百二十八部 小
造林第三百二十九部 小
造林第三百三十部 小
造林第三百三十一部 小
造林第三百三十二部 小
造林第三百三十三部 小
造林第三百三十四部 小
造林第三百三十五部 小
造林第三百三十六部 小
造林第三百三十七部 小
造林第三百三十八部 小
造林第三百三十九部 小
造林第三百四十部 小
造林第三百四十一部 小
造林第三百四十二部 小
造林第三百四十三部 小
造林第三百四十四部 小
造林第三百四十五部 小
造林第三百四十六部 小
造林第三百四十七部 小
造林第三百四十八部 小
造林第三百四十九部 小
造林第三百五十部 小
造林第三百五十一部 小
造林第三百五十二部 小
造林第三百五十三部 小
造林第三百五十四部 小
造林第三百五十五部 小
造林第三百五十六部 小
造林第三百五十七部 小
造林第三百五十八部 小
造林第三百五十九部 小
造林第三百六十部 小
造林第三百六十一部 小
造林第三百六十二部 小
造林第三百六十三部 小
造林第三百六十四部 小
造林第三百六十五部 小
造林第三百六十六部 小
造林第三百六十七部 小
造林第三百六十八部 小
造林第三百六十九部 小
造林第三百七十部 小
造林第三百七十一部 小
造林第三百七十二部 小
造林第三百七十三部 小
造林第三百七十四部 小
造林第三百七十五部 小
造林第三百七十六部 小
造林第三百七十七部 小
造林第三百七十八部 小
造林第三百七十九部 小
造林第三百八十部 小
造林第三百八十一部 小
造林第三百八十二部 小
造林第三百八十三部 小
造林第三百八十四部 小
造林第三百八十五部 小
造林第三百八十六部 小
造林第三百八十七部 小
造林第三百八十八部 小
造林第三百八十九部 小
造林第三百九十部 小
造林第三百九十一部 小
造林第三百九十二部 小
造林第三百九十三部 小
造林第三百九十四部 小
造林第三百九十五部 小
造林第三百九十六部 小
造林第三百九十七部 小
造林第三百九十八部 小
造林第三百九十九部 小
造林第四百部 小
造林第四百一部 小
造林第四百二部 小
造林第四百三部 小
造林第四百四部 小
造林第四百五部 小
造林第四百六部 小
造林第四百七部 小
造林第四百八部 小
造林第四百九部 小
造林第四百十部 小
造林第四百十一部 小
造林第四百十二部 小
造林第四百十三部 小
造林第四百十四部 小
造林第四百十五部 小
造林第四百十六部 小
造林第四百十七部 小
造林第四百十八部 小
造林第四百十九部 小
造林第四百二十部 小
造林第四百二十一部 小
造林第四百二十二部 小
造林第四百二十三部 小
造林第四百二十四部 小
造林第四百二十五部 小
造林第四百二十六部 小
造林第四百二十七部 小
造林第四百二十八部 小
造林第四百二十九部 小
造林第四百三十部 小
造林第四百三十一部 小
造林第四百三十二部 小
造林第四百三十三部 小
造林第四百三十四部 小
造林第四百三十五部 小
造林第四百三十六部 小
造林第四百三十七部 小
造林第四百三十八部 小
造林第四百三十九部 小
造林第四百四十部 小
造林第四百四十一部 小
造林第四百四十二部 小
造林第四百四十三部 小
造林第四百四十四部 小
造林第四百四十五部 小
造林第四百四十六部 小
造林第四百四十七部 小
造林第四百四十八部 小
造林第四百四十九部 小
造林第四百五十部 小
造林第四百五十一部 小
造林第四百五十二部 小
造林第四百五十三部 小
造林第四百五十四部 小
造林第四百五十五部 小
造林第四百五十六部 小
造林第四百五十七部 小
造林第四百五十八部 小
造林第四百五十九部 小
造林第四百六十部 小
造林第四百六十一部 小
造林第四百六十二部 小
造林第四百六十三部 小
造林第四百六十四部 小
造林第四百六十五部 小
造林第四百六十六部 小
造林第四百六十七部 小
造林第四百六十八部 小
造林第四百六十九部 小
造林第四百七十部 小
造林第四百七十一部 小
造林第四百七十二部 小
造林第四百七十三部 小
造林第四百七十四部 小
造林第四百七十五部 小
造林第四百七十六部 小
造林第四百七十七部 小
造林第四百七十八部 小
造林第四百七十九部 小
造林第四百八十部 小
造林第四百八十一部 小
造林第四百八十二部 小
造林第四百八十三部 小
造林第四百八十四部 小
造林第四百八十五部 小
造林第四百八十六部 小
造林第四百八十七部 小
造林第四百八十八部 小
造林第四百八十九部 小
造林第四百九十部 小
造林第四百九十一部 小
造林第四百九十二部 小
造林第四百九十三部 小
造林第四百九十四部 小
造林第四百九十五部 小
造林第四百九十六部 小
造林第四百九十七部 小
造林第四百九十八部 小
造林第四百九十九部 小
造林第五百部 小
造林第五百一部 小
造林第五百二部 小
造林第五百三部 小
造林第五百四部 小
造林第五百五部 小
造林第五百六部 小
造林第五百七部 小
造林第五百八部 小
造林第五百九部 小
造林第五百十部 小
造林第五百十一部 小
造林第五百十二部 小
造林第五百十三部 小
造林第五百十四部 小
造林第五百十五部 小
造林第五百十六部 小
造林第五百十七部 小
造林第五百十八部 小
造林第五百十九部 小
造林第五百二十部 小
造林第五百二十一部 小
造林第五百二十二部 小
造林第五百二十三部 小
造林第五百二十四部 小
造林第五百二十五部 小
造林第五百二十六部 小
造林第五百二十七部 小
造林第五百二十八部 小
造林第五百二十九部 小
造林第五百三十部 小
造林第五百三十一部 小
造林第五百三十二部 小
造林第五百三十三部 小
造林第五百三十四部 小
造林第五百三十五部 小
造林第五百三十六部 小
造林第五百三十七部 小
造林第五百三十八部 小
造林第五百三十九部 小
造林第五百四十部 小
造林第五百四十一部 小
造林第五百四十二部 小
造林第五百四十三部 小
造林第五百四十四部 小
造林第五百四十五部 小
造林第五百四十六部 小
造林第五百四十七部 小
造林第五百四十八部 小
造林第五百四十九部 小
造林第五百五十部 小
造林第五百五十一部 小
造林第五百五十二部 小
造林第五百五十三部 小
造林第五百五十四部 小
造林第五百五十五部 小
造林第五百五十六部 小
造林第五百五十七部 小
造林第五百五十八部 小
造林第五百五十九部 小
造林第五百六十部 小
造林第五百六十一部 小
造林第五百六十二部 小
造林第五百六十三部 小
造林第五百六十四部 小
造林第五百六十五部 小
造林第五百六十六部 小
造林第五百六十七部 小
造林第五百六十八部 小
造林第五百六十九部 小
造林第五百七十部 小
造林第五百七十一部 小
造林第五百七十二部 小
造林第五百七十三部 小
造林第五百七十四部 小
造林第五百七十五部 小
造林第五百七十六部 小
造林第五百七十七部 小
造林第五百七十八部 小
造林第五百七十九部 小
造林第五百八十部 小
造林第五百八十一部 小
造林第五百八十二部 小
造林第五百八十三部 小
造林第五百八十四部 小
造林第五百八十五部 小
造林第五百八十六部 小
造林第五百八十七部 小
造林第五百八十八部 小
造林第五百八十九部 小
造林第五百九十部 小
造林第五百九十一部 小
造林第五百九十二部 小
造林第五百九十三部 小
造林第五百九十四部 小
造林第五百九十五部 小
造林第五百九十六部 小
造林第五百九十七部 小
造林第五百九十八部 小
造林第五百九十九部 小
造林第六百部 小
造林第六百一部 小
造林第六百二部 小
造林第六百三部 小
造林第六百四部 小
造林第六百五部 小
造林第六百六部 小
造林第六百七部 小
造林第六百八部 小
造林第六百九部 小
造林第六百十部 小
造林第六百十一部 小
造林第六百十二部 小
造林第六百十三部 小
造林第六百十四部 小
造林第六百十五部 小
造林第六百十六部 小
造林第六百十七部 小
造林第六百十八部 小
造林第六百十九部 小
造林第六百二十部 小
造林第六百二十一部 小
造林第六百二十二部 小
造林第六百二十三部 小
造林第六百二十四部 小
造林第六百二十五部 小
造林第六百二十六部 小
造林第六百二十七部 小
造林第六百二十八部 小
造林第六百二十九部 小
造林第六百三十部 小
造林第六百三十一部 小
造林第六百三十二部 小
造林第六百三十三部 小
造林第六百三十四部 小
造林第六百三十五部 小
造林第六百三十六部 小
造林第六百三十七部 小
造林第六百三十八部 小
造林第六百三十九部 小
造林第六百四十部 小
造林第六百四十一部 小
造林第六百四十二部 小
造林第六百四十三部 小
造林第六百四十四部 小
造林第六百四十五部 小
造林第六百四十六部 小
造林第六百四十七部 小
造林第六百四十八部 小
造林第六百四十九部 小
造林第六百五十部 小
造林第六百五十一部 小
造林第六百五十二部 小
造林第六百五十三部 小
造林第六百五十四部 小
造林第六百五十五部 小
造林第六百五十六部 小
造林第六百五十七部 小
造林第六百五十八部 小
造林第六百五十九部 小
造林第六百六十部 小
造林第六百六十一部 小
造林第六百六十二部 小
造林第六百六十三部 小
造林第六百六十四部 小
造林第六百六十五部 小
造林第六百六十六部 小
造林第六百六十七部 小
造林第六百六十八部 小
造林第六百六十九部 小
造林第六百七十部 小
造林第六百七十一部 小
造林第六百七十二部 小
造林第六百七十三部 小
造林第六百七十四部 小
造林第六百七十五部 小
造林第六百七十六部 小
造林第六百七十七部 小
造林第六百七十八部 小
造林第六百七十九部 小
造林第六百八十部 小
造林第六百八十一部 小
造林第六百八十二部 小
造林第六百八十三部 小
造林第六百八十四部 小
造林第六百八十五部 小
造林第六百八十六部 小
造林第六百八十七部 小
造林第六百八十八部 小
造林第六百八十九部 小
造林第六百九十部 小
造林第六百九十一部 小
造林第六百九十二部 小
造林第六百九十三部 小
造林第六百九十四部 小
造林第六百九十五部 小
造林第六百九十六部 小
造林第六百九十七部 小
造林第六百九十八部 小
造林第六百九十九部 小
造林第七百部 小
造林第七百一部 小
造林第七百二部 小
造林第七百三部 小
造林第七百四部 小
造林第七百五部 小
造林第七百六部 小
造林第七百七部 小
造林第七百八部 小
造林第七百九部 小
造林第七百十部 小
造林第七百十一部 小
造林第七百十二部 小
造林第七百十三部 小
造林第七百十四部 小
造林第七百十五部 小
造林第七百十六部 小
造林第七百十七部 小
造林第七百十八部 小
造林第七百十九部 小
造林第七百二十部 小
造林第七百二十一部 小
造林第七百二十二部 小
造林第七百二十三部 小
造林第七百二十四部 小
造林第七百二十五部 小
造林第七百二十六部 小
造林第七百二十七部 小
造林第七百二十八部 小
造林第七百二十九部 小
造林第七百三十部 小
造林第七百三十一部 小
造林第七百三十二部 小
造林第七百三十三部 小
造林第七百三十四部 小
造林第七百三十五部 小
造林第七百三十六部 小
造林第七百三十七部 小
造林第七百三十八部 小
造林第七百三十九部 小
造林第七百四十部 小
造林第七百四十一部 小
造林第七百四十二部 小
造林第七百四十三部 小
造林第七百四十四部 小
造林第七百四十五部 小
造林第七百四十六部 小
造林第七百四十七部 小
造林第七百四十八部 小
造林第七百四十九部 小
造林第七百五十部 小
造林第七百五十一部 小
造林第七百五十二部 小
造林第七百五十三部 小
造林第七百五十四部 小
造林第七百五十五部 小
造林第七百五十六部 小
造林第七百五十七部 小
造林第七百五十八部 小
造林第七百五十九部 小
造林第七百六十部 小
造林第七百六十一部 小
造林第七百六十二部 小
造林第七百六十三部 小
造林第七百六十四部 小
造林第七百六十五部 小
造林第七百六十六部 小
造林第七百六十七部 小
造林第七百六十八部 小
造林第七百六十九部 小
造林第七百七十部 小
造林第七百七十一部 小
造林第七百七十二部 小
造林第七百七十三部 小
造林第七百七十四部 小
造林第七百七十五部 小
造林第七百七十六部 小
造林第七百七十七部 小
造林第七百七十八部 小
造林第七百七十九部 小
造林第七百八十部 小
造林第七百八十一部 小
造林第七百八十二部 小
造林第七百八十三部 小
造林第七百八十四部 小
造林第七百八十五部 小
造林第七百八十六部 小
造林第七百八十七部 小
造林第七百八十八部 小
造林第七百八十九部 小
造林第七百九十部 小
造林第七百九十一部 小
造林第七百九十二部 小
造林第七百九十三部 小
造林第七百九十四部 小
造林第七百九十五部 小
造林第七百九十六部 小
造林第七百九十七部 小
造林第七百九十八部 小
造林第七百九十九部 小
造林第八百部 小
造林第八百一部 小
造林第八百二部 小
造林第八百三部 小
造林第八百四部 小
造林第八百五部 小
造林第八百六部 小
造林第八百七部 小
造林第八百八部 小
造林第八百九部 小
造林第八百十部 小
造林第八百十一部 小
造林第八百十二部 小
造林第八百十三部 小
造林第八百十四部 小
造林第八百十五部 小
造林第八百十六部 小
造林第八百十七部 小
造林第八百十八部 小
造林第八百十九部 小
造林第八百二十部 小
造林第八百二十一部 小
造林第八百二十二部 小
造林第八百二十三部 小
造林第八百二十四部 小
造林第八百二十五部 小
造林第八百二十六部 小
造林第八百二十七部 小
造林第八百二十八部 小
造林第八百二十九部 小
造林第八百三十部 小
造林第八百三十一部 小
造林第八百三十二部 小
造林第八百三十三部 小
造林第八百三十四部 小
造林第八百三十五部 小
造林第八百三十六部 小
造林第八百三十七部 小
造林第八百三十八部 小
造林第八百三十九部 小
造林第八百四十部 小
造林第八百四十一部 小
造林第八百四十二部 小
造林第八百四十三部 小
造林第八百四十四部 小
造林第八百四十五部 小
造林第八百四十六部 小
造林第八百四十七部 小
造林第八百四十八部 小
造林第八百四十九部 小
造林第八百五十部 小
造林第八百五十一部 小
造林第八百五十二部 小
造林第八百五十三部 小
造林第八百五十四部 小
造林第八百五十五部 小
造林第八百五十六部 小
造林第八百五十七部 小
造林第八百五十八部 小
造林第八百五十九部 小
造林第八百六十部 小
造林第八百六十一部 小
造林第八百六十二部 小
造林第八百六十三部 小
造林第八百六十四部 小
造林第八百六十五部 小
造林第八百六十六部 小
造林第八百六十七部 小
造林第八百六十八部 小
造林第八百六十九部 小
造林第八百七十部 小
造林第八百七十一部 小
造林第八百七十二部 小
造林第八百七十三部 小
造林第八百七十四部 小
造林第八百七十五部 小
造林第八百七十六部 小
造林第八百七十七部 小
造林第八百七十八部 小
造林第八百七十九部 小
造林第八百八十部 小
造林第八百八十一部 小
造林第八百八十二部 小
造林第八百八十三部 小
造林第八百八十四部 小
造林第八百八十五部 小
造林第八百八十六部 小
造林第八百八十七部 小
造林第八百八十八部 小
造林第八百八十九部 小
造林第八百九十部 小
造林第八百九十一部 小
造林第八百九十二部 小
造林第八百九十三部 小
造林第八百九十四部 小
造林第八百九十五部 小
造林第八百九十六部 小
造林第八百九十七部 小
造林第八百九十八部 小
造林第八百九十九部 小
造林第九百部 小
造林第九百一部 小
造林第九百二部 小
造林第九百三部 小
造林第九百四部 小
造林第九百五部 小
造林第九百六部 小
造林第九百七部 小
造林第九百八部 小
造林第九百九部 小
造林第九百十部 小
造林第九百十一部 小
造林第九百十二部 小
造林第九百十三部 小
造林第九百十四部 小
造林第九百十五部 小
造林第九百十六部 小
造林第九百十七部 小
造林第九百十八部 小
造林第九百十九部 小
造林第九百二十部 小
造林第九百二十一部 小
造林第九百二十二部 小
造林第九百二十三部 小
造林第九百二十四部 小
造林第九百二十五部 小
造林第九百二十六部 小
造林第九百二十七部 小
造林第九百二十八部 小
造林第九百二十九部 小
造林第九百三十部 小
造林第九百三十一部 小
造林第九百三十二部 小
造林第九百三十三部 小
造林第九百三十四部 小
造林第九百三十五部 小
造林第九百三十六部 小
造林第九百三十七部 小
造林第九百三十八部 小
造林第九百三十九部 小
造林第九百四十部 小
造林第九百四十一部 小
造林第九百四十二部 小
造林第九百四十三部 小
造林第九百四十四部 小
造林第九百四十五部 小
造林第九百四十六部 小
造林第九百四十七部 小
造林第九百四十八部 小
造林第九百四十九部 小
造林第九百五十部 小
造林第九百五十一部 小
造林第九百五十二部 小
造林第九百五十三部 小
造林第九百五十四部 小
造林第九百五十五部 小
造林第九百五十六部 小
造林第九百五十七部 小
造林第九百五十八部 小
造林第九百五十九部 小
造林第九百六十部 小
造林第九百六十一部 小
造林第九百六十二部 小
造林第九百六十三部 小
造林第九百六十四部 小
造林第九百六十五部 小
造林第九百六十六部 小
造林第九百六十七部 小
造林第九百六十八部 小
造林第九百六十九部 小
造林第九百七十部 小
造林第九百七十一部 小
造林第九百七十二部 小
造林第九百七十三部 小
造林第九百七十四部 小
造林第九百七十五部 小
造林第九百七十六部 小
造林第九百七十七部 小
造林第九百七十八部 小
造林第九百七十九部 小
造林第九百八十部 小
造林第九百八十一部 小
造林第九百八十二部 小
造林第九百八十三部 小
造林第九百八十四部 小
造林第九百八十五部 小
造林第九百八十六部 小
造林第九百八十七部 小
造林第九百八十八部 小
造林第九百八十九部 小
造林第九百九十部 小
造林第九百九十一部 小
造林第九百九十二部 小
造林第九百九十三部 小
造林第九百九十四部 小
造林第九百九十五部 小
造林第九百九十六部 小
造林第九百九十七部 小
造林第九百九十八部 小
造林第九百九十九部 小
造林第千部 小
造林第千一部 小
造林第千二部 小
造林第千三部 小
造林第千四部 小
造林第千五部 小
造林第千六部 小
造林第千七部 小
造林第千八部 小
造林第千九部 小
造林第千十部 小
造林第千十一部 小
造林第千十二部 小
造林第千十三部 小
造林第千十四部 小
造林第千十五部 小
造林第千十六部 小
造林第千十七部 小
造林第千十八部 小
造林第千十九部 小
造林第千二十部 小
造林第千二十一部 小
造林第千二十二部 小
造林第千二十三部 小
造林第千二十四部 小
造林第千二十五部 小
造林第千二十六部 小
造林第千二十七部 小
造林第千二十八部 小
造林第千二十九部 小
造林第千三十部 小
造林第千三十一部 小
造林第千三十二部 小
造林第千三十三部 小
造林第千三十四部 小
造林第千三十五部 小
造林第千三十六部 小
造林第千三十七部 小
造林第千三十八部 小
造林第千三十九部 小
造林第千四十部 小
造林第千四十一部 小
造林第千四十二部 小
造林第千四十三部 小
造林第千四十四部 小
造林第千四十五部 小
造林第千四十六部 小
造林第千四十七部 小
造林第千四十八部 小
造林第千四十九部 小
造林第千五十部 小
造林第千五十一部 小
造林第千五十二部 小
造林第千五十三部 小
造林第千五十四部 小
造林第千五十五部 小
造林第千五十六部 小
造林第千五十七部 小
造林第千五十八部 小
造林第千五十九部 小
造林第千六十部 小
造林第千六十一部 小
造林第千六十二部 小
造林第千六十三部 小
造林第千六十四部 小
造林第千六十五部 小
造林第千六十六部 小
造林第千六十七

公民館だより

奈良時代のマガ玉、太刀

岩野山から発掘

さる十一月二十日、岩野部落の猿田鉄之助さんは昨年町から払い下げをうけた鷹沢の山畑でリンゴの苗木を植えていたところ、太刀や、マガ玉、土器、帯石具などを発見した。

これらの土器はいずれも須恵器で、年代は千年を越えるものと思われ、いずれも形姿がすぐれ、高台がつけ高台になっている。

このほか大瓶一個、わん大小二個、皿状のものなどいくつか発掘された。

なおこれについて郷土史研究家分銅志朗氏は次のように語っている。

▽分銅氏の話

発掘品の中でとくに目をひいたのは三本の太刀である。

その中の一本は最近考古学会で注目している蕨手太刀で、鉄の柄頭（いがしら）が草蕨（わらび）の形になっているもので、この蕨手太刀は奈良時代を中心とする文化の所産で、その大部分が東北、北海道から発掘されている。

県内では今まで五例あり猿田さんのものを加えて六例となるが、まことに貴重な発見である。

このほかもう一本のものは方頭太刀と言われるもので、蕨手太刀よりはいくらか年代がさかのぼるようである。

方頭には今なお金鍍金（メッキ）のあとがあり刀身は直刀で当時のものとしてはやや太身のものである。

また太刀と一緒に三谷刀子（とうす）（小刀のようなもの）も出ているが、これを所有していた人はかなり身分の高い武人であったと思われる。

さらに興味あることは帯石具である。

これには二種類あり、厚さ三ミリ位の角型のものと同じ厚さの心葉のものがある。どれにも紐を通せるような、短形穴があいている。石は碧玉岩と思われるが、おそろく帯石として帯に縫いこんだものらしい。

太刀はその帯石の帯に吊るされたまま、首飾りや什器と一緒に埋められたものであろう。

首飾りのマガ玉は四個より出土していないが、そのうち二つはめのうである。

五城目町出土と確認されたマガ玉はこれが最初である。

以上のような発掘状況からみてこれらは当然副葬品として埋められたものであろう。

しかしどうしたことか石棺も磯土もなくふん墓としての要件が全くそなわっていない。しかし太刀を中心として遺品が二群にわかれている点からこれは二人の死者の遺品とみるよりほかにない。

当時は秋田城に據った大和朝廷軍とえぞ先住民の格闘時代であるから、戦時中の常として埋葬はあえてふん墓の形をとらなかったためであろう。

敵に あばかれないように

街頭の聴衆から拍手

辯論大会成功をおさめる

五城目町選挙管理委員会五城目町中央公民館の共催により、五城目町で月十五日木町下タ町通りでは第一回街頭弁論大会を開催した。

当日は市場が開設されており買物かごをもった主婦たちや、道ゆく人々が懸心に弁論に聞き入り十六人の弁士に拍手をおくるなど初めての試みながら盛況をきわめた大会であった。

なお当日の入賞者は次のとおりですが、公明選挙推進に関するものや、国体をむかえる心がまえにふれたものが多かった。

▼一般の部

①「公明選挙はわれわれの手で！」＝大川青年会 八柳 徳朗

②「公明選挙実現のために」＝五城目高 稚名 勝治

③「国体の心がまえ」＝五城目高 沢田石克己

④「交通事故のない町に」＝五城目高一関敏弘

⑤「交通道徳」＝五城目高 草皆ミキ子

⑥船木典子（五高）

⑦伊藤吉実（五高）

▼中学生の部

①「国体をむかえるにあたって」＝馬場目中 伊藤タカ子

②「花いっぱい運動に協力しよう」＝富津内中 伊藤志保子

③「公明選挙をこう考える」＝五城目第一中 荒川 道子

④「子どもを交通事故から守るために」＝五城目第一中 川村淳子

⑤「公明選挙について」＝五城目第一中 伊藤直史

⑥「公明選挙について」＝富津内中 伊藤信悦

⑦渡辺田鶴（五一中）

⑧石井誠子（大川中）

⑨原田紀子（五一中）

【写真は街頭弁論大会風景】

頂上めざす若人群

第四回全県森山登山競技会盛況に終る

誰がいうともなく今年で四回目をむかえた森山登山競技会は、全県という名称で呼ばれるようになり、年々盛況を加えている。

今年もさる十一月三日一般五小前、中学生は信用金庫前をスタート、頂上の「希望の塔」を目指し駆をきそった。

この日は「文化の日」にあたっていたが、おりわるく強天に風強く記録的には良い結果はでなかったが、若人のたくましい息吹きで悪天候にもめげず頂上へ全員登りきった。

当日の成績は次のとおりである。

▼中学生の部

①佐々木章（杉沢三年）16分56秒

②小玉久昌（杉沢二年）17分12秒

③工藤直彦（五城目第一中一年）17分30秒

④小野勉（五城目第一中一年）17分35秒

⑤奈良秀夫（〃二年）

⑥清水正彦

⑦佐々木次雄

⑧山口国彦

⑨石川君雄

⑩石川国雄

▼一般の部

①畠山春三（富津内青年会）17分40秒

②三浦金市（馬川青年会）18分51秒

③畑沢敏郎（内川青年会）19分24秒

④六石重幸

⑤藤島俊明

⑥工藤福次郎

⑦鈴木良平

⑧渡辺和雄

▼団体の部

①五城目高校（草岡信義 佐藤正哲 石井重雄 貝田武美）21分12秒

②岡本（工藤武光 工藤信彦 北島秋正 宮田鉄男）23分20秒

③サーモ・エレメント（佐藤信也 村山昌治 茅森昭洋 佐藤隆三）29分32秒

◇◇

【写真は森山登山競技会の表彰式】

成人該当者名簿まとまる

男 一八〇名 女 二〇〇名

中央公民館では来年一月十五日におこなわれる成人式該当者名簿の調整を急いでいたが、このほど次のようにまとまった。

これによると昨年までは男子の成人が女子より多かったが、本年は女子の該当者が若干上まわった。

なお三十五年度の成人の該当者は昭和十五年一月十六日以降同十六年一月十五日までの間に出生したものとなっているが、この年令層は移動が激しく、本籍が五城目町にあっても進学、就職、見習い奉行、その他の事情などによって他出している男子の成人が女子より多いもの、又他町村から転入しているもの、五城目町民であっても役場の「住民登録簿」に未登録の者などは名簿にのらないので、こういう方や疑問におもわれる方は、早めに中央公民館（五城目町字馬場目 話四一四番）へお問い合せ下さるよう中央公民館では望んでいる。

昭和35年度成人（〔 〕）該当者数

	男	女	計
五城目	73 (91)	93 (77)	166 (168)
馬場目	33 (31)	33 (33)	66 (64)
富津内	32 (28)	31 (29)	63 (57)
内川	21 (26)	23 (21)	44 (47)
大川	21 (26)	20 (29)	41 (55)
合計	180 (202)	200 (189)	380 (391)

☆ ☆ ☆

町民の歌、新五城目音頭

作曲できあがる

中央公民館ではさきに「町民の歌」と「新五城目音頭」の作詞の当選作を発表しましたが、このほど作曲を依頼しておりましたし石井漠氏の金第石井五郎氏からこの二つの歌の楽譜が届いた。

早速この歌を五城目小学校菊地亮二先生の指導で、五小生徒による試聴会をさる二十五日役場職員を対象にして行った。

試聴会に参加した方々の感想によれば、町民の歌はすぐ誰でも覚えやすく、躍進する五城目町にふさわしい力強い歌であるとの好評であった。

音頭はテンポが軽快で歌いながら心たのしくなるようになっている。

なお近くレコード吹込みやテープコーダーによって一般に広く普及するよう準備をすゝめている。

なお新五城目音頭の作曲がその後一部書変えされましたので次号に楽譜を掲載することになりましたからご承知ください。

会と催し

成人の代表者会議

12月10日於中公

中央公民館では目下、来年一月十五日におこなわれる「成人式」の実施について検討をすゝめておりますが、成人の代表者から参考ねがって12月10日中央公民館において成人式に対する希望意見を聞き考えている。

十六ミリ映写クラブ結成

視聴覚教育に対する関心が高まっているおりから、このほど十六ミリ映写技術の資格を有する人々で、「五城目町映写クラブ」を結成した。

これは、地域の視聴覚教育の充実振興と会員の研修、親睦をはかることを目的としたものである。

主な事業として

(イ)映写機の操作および整備

(ロ)視聴覚教育に関する研究

(ハ)映写会の開催

(ニ)フイルムの選定

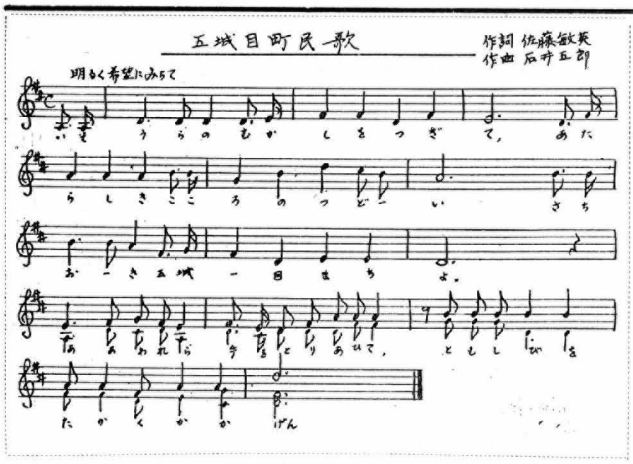
(ホ)地域ライブラリーの設置提進

などで、現在までの会員は三十人入っている。

▽会長 宮川庄太郎

▽副会長 渡辺 法宜 阿部 三郎

五城目町民一歌

作詞 佐藤敏美 作曲 石井五郎

明るく希望にみちて